

市民協働のまちづくり事業公開プレゼンテーション・公開報告会  
加留部選考委員長 講評

皆さま方、長時間どうもありがとうございました。発表やご報告いただきました団体の皆様方にも、改めてお礼を申し上げたいと思います。本当にどうもありがとうございました。聞かれていかがだったでしょうか。ご自身がやっている活動とか地域は少し視野には当然入っているでしょうが、他の団体とか地域でやっているようなことというのはなかなか日常的には聞く機会がないかと思えます。こういう開かれた場で知り合っていくというのは、今の柳川の姿であったり、これからの姿をお互いに共有していくという意味においても、とても意味のある場ではないかという風に、常々感じている所です。

また今日ご参加の中には、実際の活動とは違って本当に興味・関心を示していただいて来ていただいている方や、また行政の立場でずっと支えてきている方達もお越しと伺っております。そういう皆さま方から見てもどういうものだったかということより今後伝え続けるために、一点だけ、お願いを申し添えておきたいと思えます。より、具体的にお伝えをし続けていただきたいなと思えます。やはり、私たちも審査をさせていただいたり、あるいは他の所にこんなことだ、あんなことだ、というところをまた今後、良い意味でお伝えし続けるにあたりましては、何が具体的にどうだったのか、という事が分かれば分かるほど、ほかの方にもお伝えしやすいというのがあるわけです。

また、今日ご参加の方以外の市民の皆さま方や他の外来の方たちにそういうものを知っていただくにあたりまして、より具体的な変化であるとか具体的な状況であるとかいろんな言葉であるとか、そういうものが積み重なれば積み重なるほど後の方たちも咀嚼<sup>そしゃく</sup>しやすくなって、また途中からでもつかみ取りやすくなる活動になりやすくなるのではないかという事を感じています。ぜひ、様々な工夫を更に凝らしていただきまして、より多くの方たちのご支援や、あるいは共感が得られるような市民活動に繋がっていくこと、そしてそれが今回、また更に協働という形で、市民活動のみならず、行政も含めて、一緒に街のことを考えていく、そのつながりを作り続けるためにも、物事はぜひ具体的に進めていただければありがたいというように考えています。

ぜひ、今後の活動や街のこの成長というものをいろいろと期待をしながら、私の講評の形に替えさせていただきたいと思えます。ぜひ、良い街にしまりましょう。本当に今日のご参加心から感謝申し上げます。どうも皆さま、ありがとうございました。